

TOTO

サーモスタットシャワー金具

TMGG40BQ型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

警告



禁止

湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



給湯温度は85℃より高温で使用しない

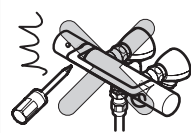
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

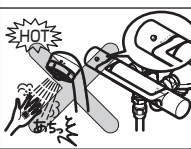
この説明書に記載された項目以外は、分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う
使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。



警告



必ず実行

フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓を閉めてから行う
また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認する

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



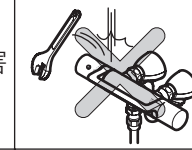
注意



禁止

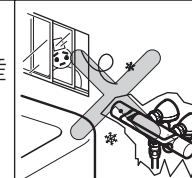
強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される場所には設置しない

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

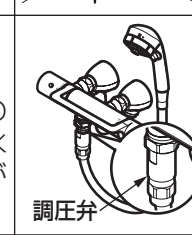


必ず実行

クリックタイプ

必ず調圧弁を取り付ける

調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



2 仕様

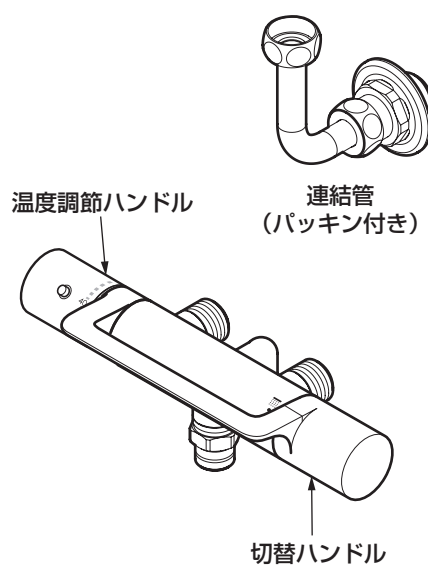
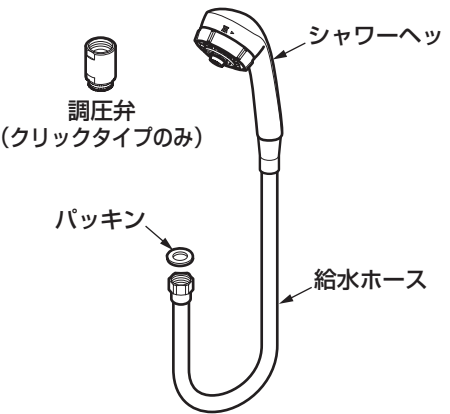
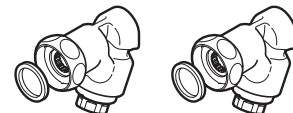
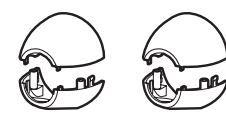
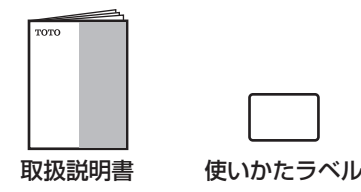

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.1MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
用途		一般住宅浴室用

3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯機の設定温度は、使用する吐水温度より高めに設定してください。
- 快適なシャワー流量・温度を得るためには、給湯機の給湯温度は60℃設定をおすすめします。
やけど防止のため、60℃を超えない設定をしてください。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

4 部品の確認

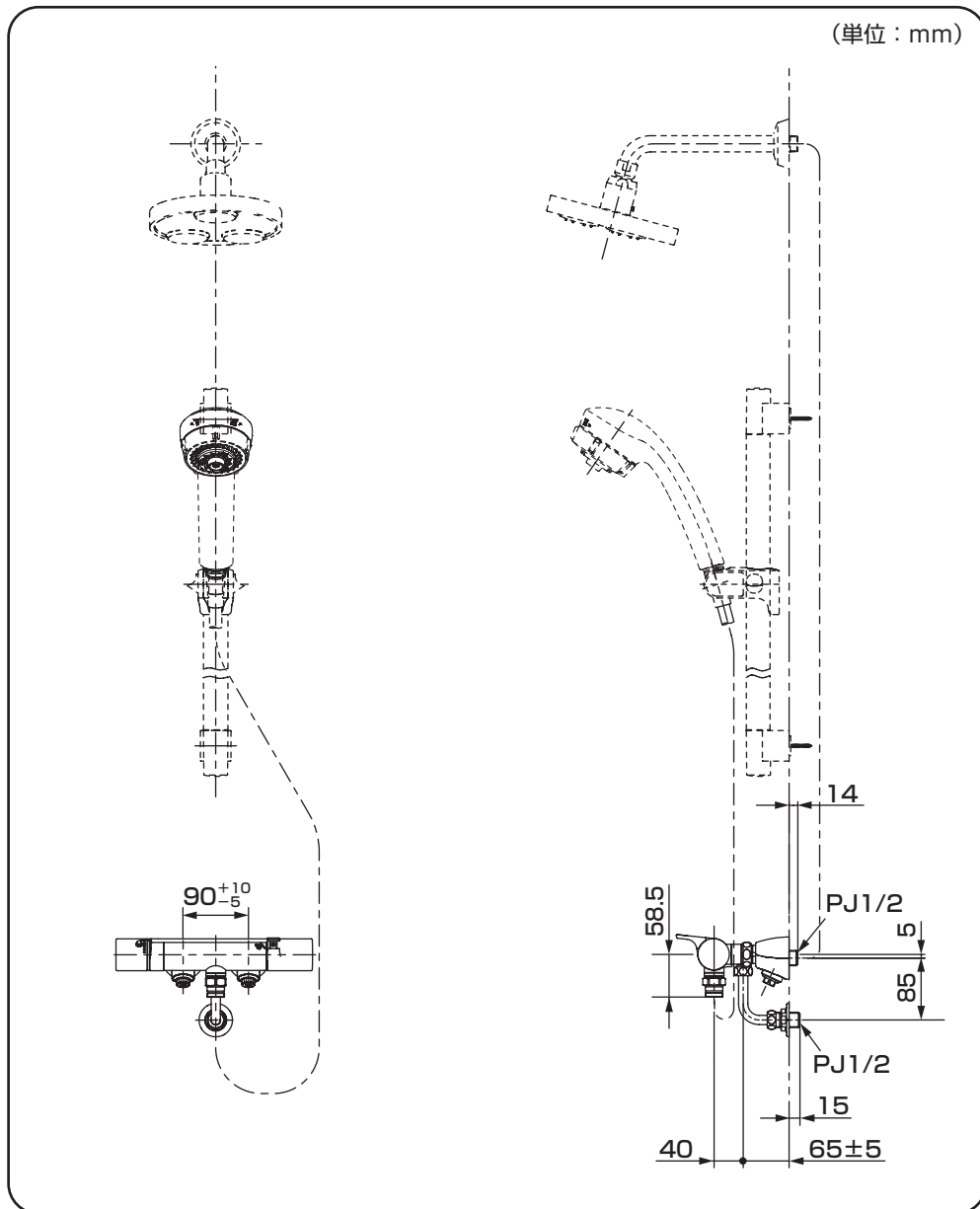
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	シャワー部(別梱包)
 <p>温度調節ハンドル 連結管 (パッキン付き) 切替ハンドル</p>	 <p>シャワーヘッド 調圧弁 (クリックタイプのみ) パッキン 給水ホース</p>
取付脚部	その他
 <p>止水栓付取付脚 (パッキン付き 2個)</p>  <p>上部・下部カバー (2個)</p>	<p>必ずお客様にお渡しください</p>  <p>取扱説明書 使いかたラベル</p>  <p>施工説明書</p>

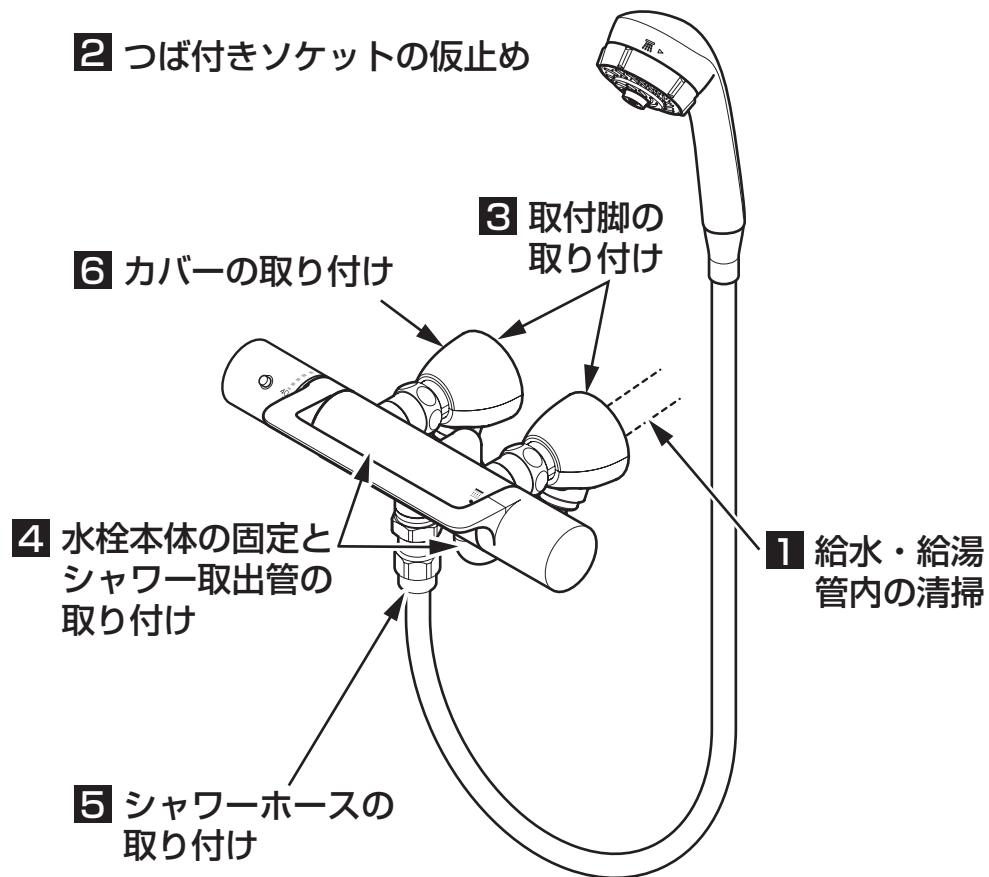
※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



6-1 施工手順



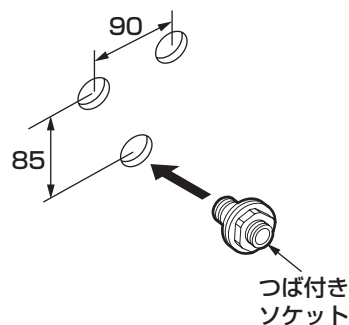
1 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

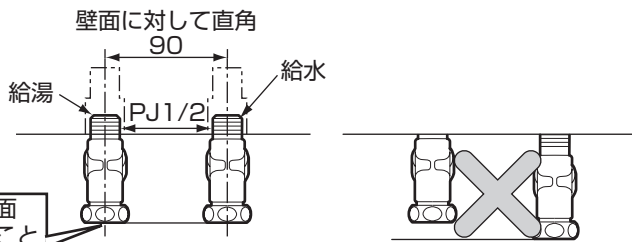
2 つば付きソケットの仮止め

つば付きソケットをシャワー裏配管のエルボに仮止めする。

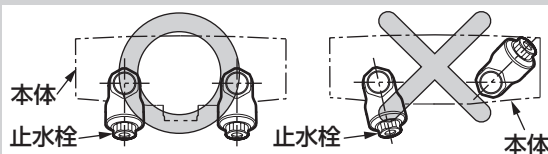


3 取付脚の取り付け

取付脚を取り付ける。(給水・給湯側)

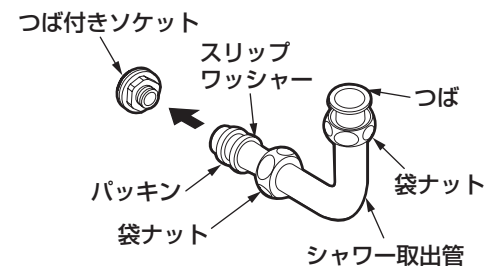


止水栓を内側に施工した場合、流量調節やフィルターのメンテナンスが困難となります。必ず下になるように取り付けてください。

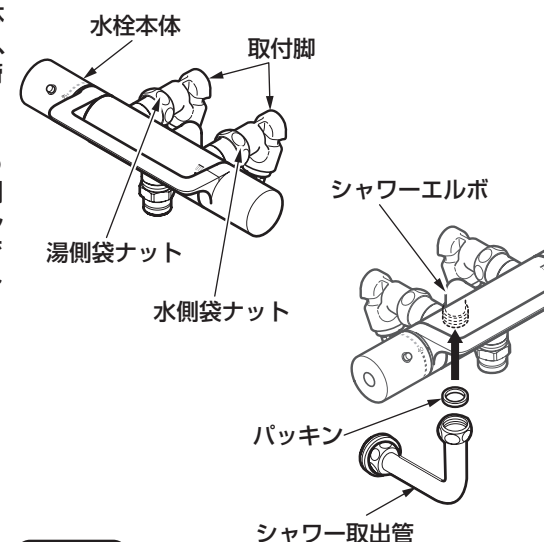


4 水栓本体の固定とシャワー取出管の取り付け

① ②で仮止めしたつば付きソケットにシャワー取出管を差し込み、仮固定する。



② ③で取り付けした取付脚に水栓本体が水平になるように調整しながら、湯側・水側の袋ナットを交互に締め付ける。



③ シャワー取出管がまっすぐになるようにつば付きソケットの位置調整し、水栓本体部のシャワーエルボにシャワー取出管を袋ナットで固定したあと、つば付きソケットを本固定する。

④ シャワー取出管をつば付きソケットに袋ナットで本固定する。

注意

- ゆるみがないようにしっかり締めてください。
袋ナットが確実に締め付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。

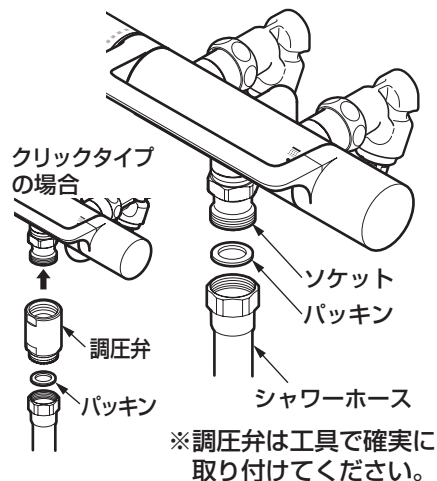
5 シャワーホースの取り付け

シャワーホースを図のように取り付ける。

注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
- クリックタイプの場合は必ず調圧弁を取り付けてください。

調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れするおそれがあります。



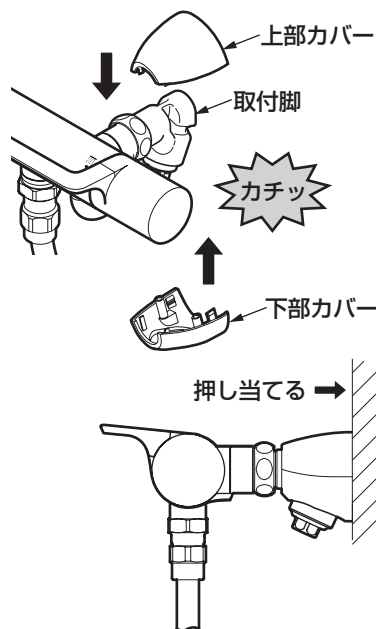
6 カバーの取り付け

- ①下部カバーを取付脚に取り付け、上部カバーを位置決めし、"カチッ"と音がするまで挿入する。

注意

カバーを無理に取り付けるとつめが折れるおそれがありますので、位置決めを確実に行ってください。

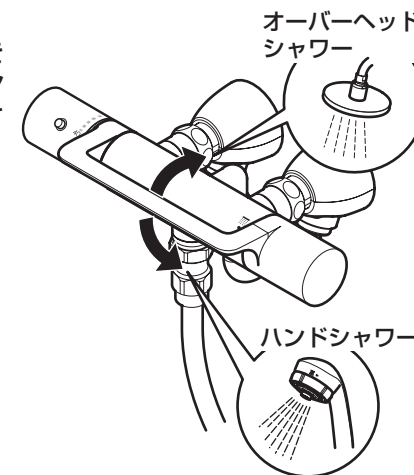
- ②カバーを壁面まで押し当てる。



施工後の調節

1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、オーバーヘッドシャワーおよびハンドシャワーから水が出るか確認してください。

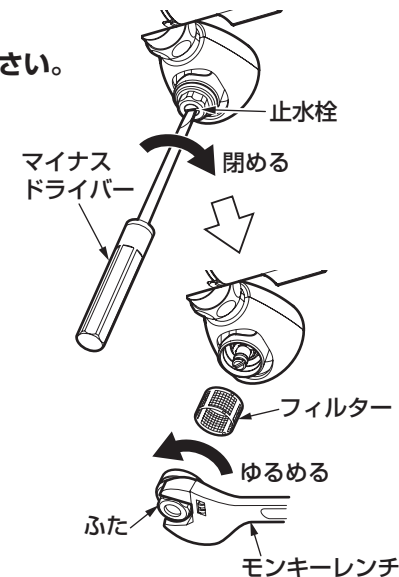


2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。

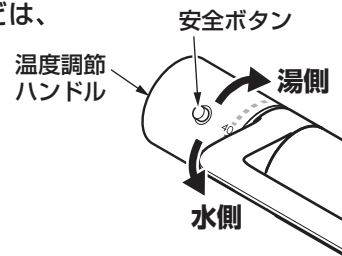
※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉め、モンキーレンチで六角面をゆるめてフィルターを外してください。また、本体左側および湯側取付脚部が熱くないことを確認してください。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



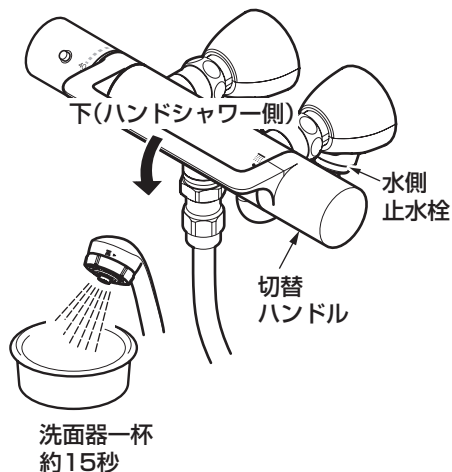
3. 流量の調節

切替ハンドル全開時の流量が多すぎる場合などは、次の要領で**止水栓**を調節してください。

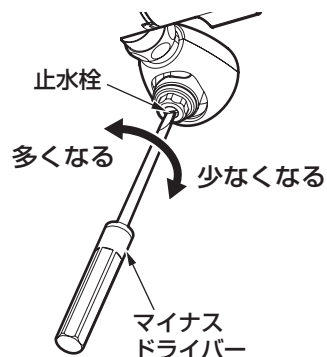
1. 温度調節ハンドルを下（水側）いっぱい回し、切替ハンドルを下いっぱい回す。
ハンドシャワーから水が出ます。



2. 流量が15L/分程度（洗面器一杯にするのに約15秒弱）になるように水側止水栓で調節する。
時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。



3. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上（湯側）いっぱい回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。



警告



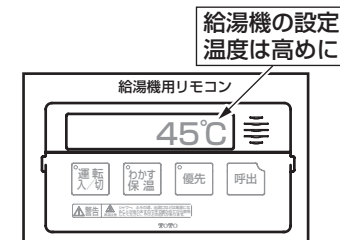
必ず実行

湯側の調節を行うときは十分に注意する
熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

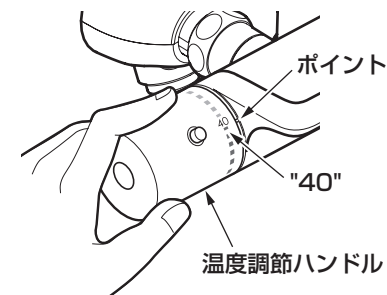
4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。
温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。
快適なシャワー流量・温度を得るためには、60℃に設定することをおすすめします。



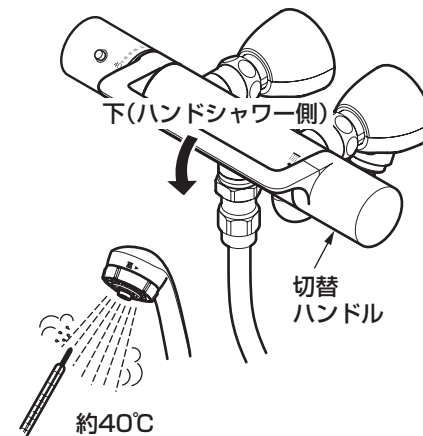
2. 温度調節ハンドルの目盛り"40"をポイントにあわせる。
3. 切替ハンドルを下いっぱい回す。
ハンドシャワーから水が出ます。



オーバーヘッドシャワーの場合は、切替ハンドルを上側いっぱい回してください。
オーバーヘッドシャワーから水が出ます。

4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。
温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。
給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。



5. 温度調節ハンドルの設定

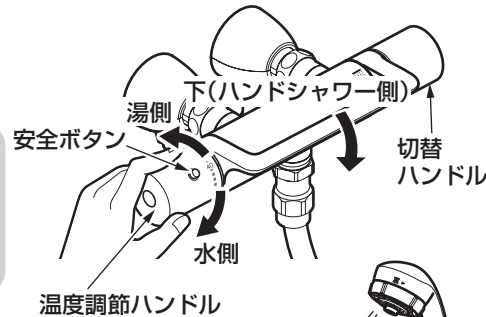
※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

1. 切替ハンドルを下いっぱいに戻す。

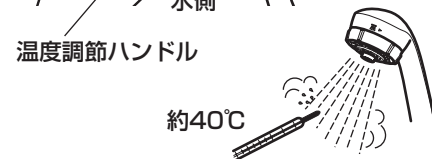
ハンドシャワーから水が出ます。

オーバーヘッドシャワーの場合は、切替ハンドルを上側いっぱいに戻してください。オーバーヘッドシャワーから水が出ます。



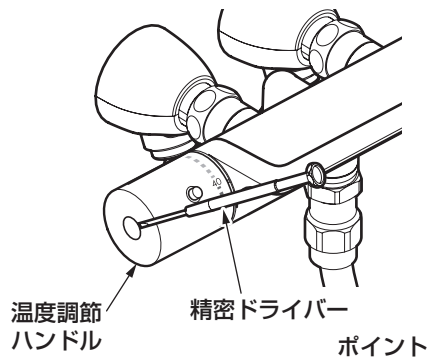
2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。



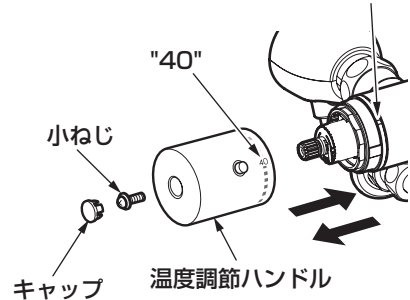
3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。



4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

目盛り"40"の文字とポイントをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。



5. 固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。

点検項目

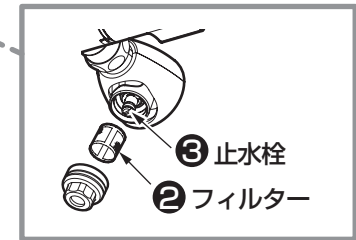
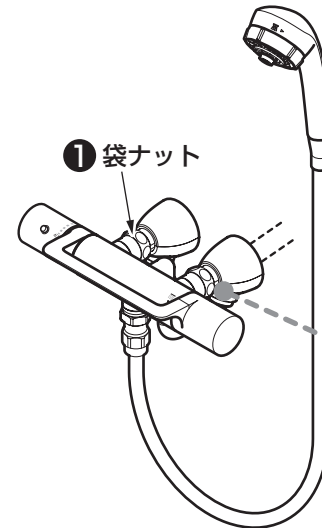
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

水栓本体のガタツキがないか確認してください。

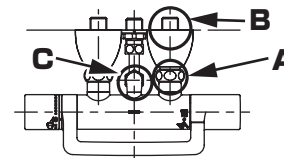
- ① 袋ナットのゆるみはないですか？

➡ 6-2-4 「水栓本体の固定とシャワー取出管の取り付け」参照



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。



- A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度、袋ナットを締め直してください。

- Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがないことを確認のうえ、再度シールテープを巻き、取り付け直してください。

流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

- ② フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 7-1 2. フィルターの掃除 参照

- ③ 止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。

7-2 3. 流量の調節 参照

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡してください。